

外部専門員ニュース 第2号

令和6年6月14日

都立清瀬特別支援学校

校長 稗田 知子

今回の外部専門員ニュースは中学部2・3年生の木工班の作業学習で御指導
いただいている菅井先生より、「作業学習と社会生活」について御紹介して
いただきます。



外部専門員 菅井 亮

【作業学習と社会生活】

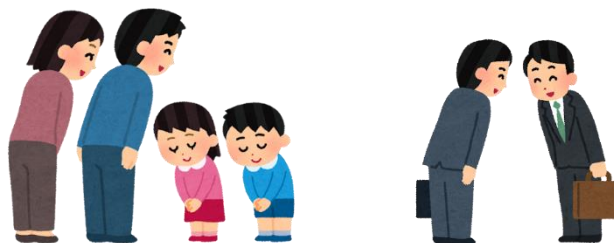
外部専門員として8年目に成りました。主に中学部の作業学習に関わらせて頂いており、木材加工や先生方の教材開発のお手伝いを中心に組み込んで参りました。作業学習として、今までに猫型キーホルダー、オリジナルコースター、ティッシュボックス、小物入れ中心に制作して参りました。最近販売にも力を入れ質の高い製品作りを目指しています。卒業生が作品を喜んで持ち帰り、大事に活用して頂いていると保護者の方からお聞きし嬉しく思っております。

生徒が黙々と分担された作業に取り組む体験は、卒業後の進路選択時の参考になるものと思っております。のこぎりで木片を正確な長さに切断し、木片を隙間なくにボンドで接合し、紙やすりで腕が痛くなるぐらい力を入れ、みがき作業をした経験は多くのことを学び、自信に繋がって行くと思います。特に作業時、大きな声での挨拶、安全確認、段取り、報告、マナー等を学んだ事は卒業後の自立のための糧となると信じております。

私は都立立川ろう学校の高専部で進路担当を長い間行っておりました。多くの会社や作業所、福祉施設の責任者とお会いし、職場が求める人材像をお伺いして参りました。どの職場でも手早く仕事ができる人より元気で明るく、仲間とチームワークよく働ける人を求めています。その為に、元気に挨拶でき、教えられた時ありがとうございますと言える生徒を希望しているとの事でした。近い将来社会人として自立して行く生徒に、今から心の準備として心掛けて置いて頂きたいと願っております。事実ある大きな会社の社長と生徒の採用の件でお伺いした時、卒業生が毎朝明るく大きな声で社長に挨拶してくれるので、大変うれしいと喜んでくださっていました。他の社員は頭を下げるだけで声はほとんど出していないそうです。挨拶の偉大な効果を実感した貴重な体験でした。作業学習から、多くの事を学び、自立できる生徒を目指して欲しいと願っております。

【普段の生活から意識しよう！】

- ◆ 元気にあいさつする
- ◆ 感謝の気持ちを伝える



「おはよう」や「ありがとう」など、人と心地よく関わる上で大切な言葉です。社会に出たからといって、突然できるようにはなりません。コツコツと普段の生活から取り入れ、習慣化していくことが大切です。ぜひご家庭でも「おはよう」や「ありがとう」など相手に伝わる方法でできているか話題にしてみてください。